

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ
川崎市外国人市民代表者会議
(第10期 第2年 第2回 第2日)
ぎじろく
議事録

1 日時 2015(平成27)年9月13日(日) 午後2時～5時

2 場所 川崎市国際交流センター

3 出席者

(1) 代表者 23人

張 氷青、葉 元聡、任 冢林、劉 健全、金 スンオグ、孔 敏淑、崔 想、
河 相宇、ヴィラマー ジェリー、タカハシ ライゼール ラモス、牟 鳳菊、
グエン ゴク バオ リン、ヘイ ジャ フィ、仲田 シリワン、ヒラチャン
アスカ、ケゼン グア エドワード、セヌー ジョアキム、鈴木 イエレナ、
バルトコバ オクサナ、園田 泉 ベアトリス、河本 ファビオ 良則、
シフケン ブランドン、オルソン チャールズ、

(2) 事務局

石川 室長、町田 担当課長、八木 担当課長、須藤 課長補佐、小田切 担当
係長、宮島 担当係長、丸橋 職員、高橋 専門調査員

4 傍聴者 16人

5 会議次第(公開)

(1) 開会のあいさつ

(2) 事務局説明

(3) 議事

(4) 事務連絡

(5) 閉会

【全体会】

セヌー委員長「それでは、川崎市外国人市民代表者会議、2015年度第2回第2日

を開催する。今日は、ダニエラさん、董さん、王さんから欠席の連絡が届いている。本日の応援職員の紹介を、事務局からお願いします。」

(事務局須藤課長補佐が紹介。)

セヌー委員長「それでは、今日の日程と配付資料の確認を事務局からお願いします。」

(事務局須藤課長補佐が説明。)

セヌー委員長「続いて、前回の会議のまとめについて事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料1に基づき説明。)

セヌー委員長「それでは、議事に入る。まずは提言について審議する。まずは事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料2に基づき説明。)

セヌー委員長「今の事務局の説明について、何か意見や質問はあるか。(なし)

それでは、各部会での審議は今後のスケジュールを念頭に行ってください。

では、資料の続きについて説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料2に基づき説明。)

セヌー委員長「今の事務局の説明について、何か質問や意見はあるか。(なし)

私からも一度説明する。共通の大きな提言というのは、部会審議などで多

くの代表者の関心が重なるテーマのことだ。相談窓口や情報提供・情報発信、

異文化交流・多文化共生、居場所づくりなどをまとめて『国際交流ラウンジ』

の設置としたらどうかという提案だ。何か意見はあるか。(なし)それ

では、提言の候補として検討していくということで賛成の人は手を挙げてくださ

い。(全員賛成)それでは、共通の提言候補ということで、全員で検討し

ていくテーマということに決定した。あわせて、参考人招致についても事務局

から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料2に基づき説明。)

セヌー委員長「何か意見や質問はあるか。」

タカハシ委員「国際交流センター以外にも、つづきMYプラザやふれあい館なども参考人に呼べるか。」

事務局高橋専門調査員「相手の都合もあるので、来てもらえるかどうかは今は答えら

れないが、お願いをすることはできる。」

孔委員「つづきMYプラザには、フィールドワークで行ったし、スタッフとしてよく

知っているベアトリスさんもいるのでわざわざ来てもらわなくてもよいのでは

ないか。」

セヌー委員長「名前が出た園田さんからは何かあるか。」

園田部会長「私としては、会議の時間は限られているので、参考人として来てもらうよりも、みなさんがフィールドワークや個人で実際に見に行くのがよいと思う。」

劉委員「タカハシさんの意見は国際交流センターだけでは、偏りがあるのではないかという意味だったと理解しているのだが。たとえば、各市民館の職員などに来てもらってもよいのではないか。」

金委員「今は、これまである程度、話を積み上げてきたうえで、国際交流センターに話を聞こうということになっているのだと思う。もっと早い時期ならいろいろな人に来てもらってよいと思うが、今の段階では絞って話を聞かないと時間的に厳しいのではないか。」

セヌー委員長「先ほども話したがスケジュールのことを念頭に置かないといけない。私も金さんと同じ考えだ。別の意見はあるか。（なし）それでは、決をとりたい。国際交流センターから参考人として会議に出席してもらうことに賛成する人は手を挙げてください。（全員賛成）。

次のテーマに移る。オープン会議についてだ。事務局から説明をお願いします。」

（事務局高橋専門調査員が資料3に基づき説明。）

セヌー委員長「プログラム案が出たのとグループディスカッションをワークショップにしたかどうかという提案があった。何か意見はあるか。（なし）それでは、一応、決をとる。グループディスカッションからワークショップに変更することに賛成の人は手を挙げてください。（全員賛成）グループの数については意見や質問はあるか。」

崔委員「1グループ10人ぐらいが限度かなと思う。当日の参加人数をみながら10人ぐらいのグループができるようにするのがよいと思う。」

セヌー委員長「先ほどの実行委員会では、勉強会もふまえて事前に準備をしておくことが大事だという意見があった。資料の案でも4～5となっているが、多くても6つが限界だと思う。時間も限られているので、テーマについても話したいと思う。事務局から説明をお願いします。」

（事務局高橋専門調査員が資料3に基づき説明。）

セヌー委員長「実行委員会では、先ほど決まった国際交流ラウンジについて、という

1つのテーマにするのがよいという意見が多かった。それ以外のことについても聞いてもよいが、あくまでもこちらのテーマとしては1つに絞った方がよいと思う。質問や意見はあるか。(なし)それでは、決をとる。オープン会議のテーマを国際交流ラウンジの1つに絞ることに賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)続いて、サポーターとコメンテーターについても話し合いたい。何か意見はあるか。」

劉委員「事務局はもう候補者を考えているのか。」

事務局高橋専門調査員「まず、代表者会議での決定がないと事務局は勝手に依頼することはできない。これまでの例だと学識経験者や代表者会議に関わってきたり、市の施策に関わっているような人におねがいをしてきた。今回についても広い意味での関係者の中からというようには考えている。」

園田部会長「ふれあい館の館長がよいのではないかと思う。」

張委員「質問だが、サポーターとコメンテーターは同じ人物か。」

セヌー委員長「別だ。それでは、コメンテーターやサポーターの依頼について決をとる。賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)それでは事務局は調整をお願いする。候補者について意見はあるか。」

劉委員「昨年も来ていただいたが宮島先生にコメンテーターをお願いしたい。」

仲田委員「私の知り合いに大学の講師をしている人がいるのだが、その人に依頼することはできるか。」

セヌー委員長「事務局どうか。」

事務局高橋専門調査員「まず、相手の都合があることなので、ここで特定の人に決定するということとはできない。たとえば、先ほどふれあい館の館長という意見があったが、それについても事務局としては館長だけに限定せずに、ふれあい館からという意味で受けとめさせてもらいたい。まずは、みなさんからの意見を聞いて調整させてもらいたい。」

河委員「たとえば、ふれあい館や国際交流センターのような現場に近い方を1名、それと大学の先生などの学識者を1名ということで調整してもらおうとバランスがよいのではないか。」

事務局高橋専門調査員「ご意見ありがとうございます。調整してみなさんに報告したいと思います。」

セヌー委員長「時間なので部会審議に移りたい。社会生活部会はレセプションルーム、福祉教育部会は第1会議室に移動してください。」

【福祉教育部会】

園田部会長「それでは福祉教育部会を始める。まずは前回の内容の確認を事務局から
願います。」

(事務局高橋専門調査員が資料1に基づき説明。)

園田部会長「何か質問はあるか。(なし)では、前回欠席した人たちに希望を
確認していきたい。」

劉委員「私は保育園と居場所づくりを提言にしたい。」

崔委員「僕は2番のガイドブックと12番の居場所づくりがよい。」

園田部会長「私も12番の居場所づくりと高校進学がよい。ただ、居場所づくりは
ラウンジとあわせて考えることもできるので、部会としては希望の多い
ガイドブックと高校進学を提言にしてもよいのではないかと思っている。」

金委員「私も2つ提言することに賛成だ。」

劉委員「賛成だが、1つ確認したい。高校進学は私たちが提言して、どこまででき
るのか」

事務局高橋専門調査員「どの提言も同じだが、みなさんの提言がそのまますべて実現
されるわけではない。あくまでも提言を受けた市がそれを尊重するというのが
この会議の仕組みだ。高校進学については、過去にも提言が出ている。これま
での審議でも説明したが、公立高校は大きく県立高校と市立高校がある。県立
高校に対しては、市を通じて働きかけるということになる。市立高校に対し
ては、市に直接提言するということになる。高校進学については、多文化共生
社会推進指針について検討する委員会でも課題として指摘されているので、
提言にすること自体はそれほどおかしいとは思わない。」

河本委員「先ほど、ちょうど隣の会場で高校進学に関する説明会かフォーラムのよ
うなものをやっていた。合間に少し説明を聞いたのだが、やはり外国人にとっ
て高校進学は大きなハードルのようだ。」

園田部会長「外国人だけではないが、塾に行くお金がない家庭も多い。
ボランティアのサポートがあれば、進学の希望がみえてくる。今回は入試制度
のことがメインだが、学習サポートも重要な課題だと思う。」

ケゼンダ委員「私も基本的に提言は2つあってもよいと思う。一方で、全体の
提言が1つあるので、数を調整して部会からは1つとしてもよい。」

金委員「2つとも具体的に言いやすいので、大丈夫ではないか。」

牟委員「最近、知り合った中国から来た5年生の子どもは『あいうえお』ができなかった。高校受験でも苦労するのではないか。」

園田部会長「みなさん、賛成の方が多いようなのだがきちんと決をとりたい。部会の提言を子育てガイドブックと高校進学の2つにすることに賛成の人は手を挙げてください。（全員賛成）では、2つ頑張りましょう。事務局には次回、たたき台をつくってもらいたいのだが。」

事務局高橋専門調査員「たたき台をつくるためにいくつか確認させて欲しい。子育てガイドブックについては、内容を統一したらどうかという意見もあったかと思う。この点についても一度みなさんの意見を確認しておきたい。」

金委員「私は統一ではない方がよいと思う。というのも、区ごとのガイドブックは地域に密着した情報が載っていることが魅力的なので、内容を統一して欲しいとは思わない。」

園田部会長「だからといって、全部の区の情報を1冊にまとめることもできない。」

事務局高橋専門調査員「わかりました。では、高校進学についてだが、基本的には①県立高校の在県枠について学校数、定員数を増やしてほしいと3年以内という条件を緩和して欲しい、②市立高校でも在県枠のような制度を導入して欲しい、ということではどうか。」

劉委員「進学した後のことも大事だと思う。受け入れ体制を整えておかないと、ただ受け入れても学校も対応ができないと思う。」

牟委員「試験科目の3教科に、英語だけではなくて中国語や韓国語も選べるようになるのではではないか。英語だけが優遇されているように思う。」

園田部会長「試験科目に英語があるのは、英語を話す外国人を優遇しているためではない。試験科目は、科目数は違うが日本人と同じだ。大学とは違うので、入試科目に中国語や韓国語を入れるのは難しい。」

劉委員「細かいことだが、県立高校への要望と市立高校への要望の優先順位についても確認しておきたい。私はまずは市に対する要望が先で、県に対する要望が後にするのがよいのではないかと思っている。」

園田部会長「そろそろ時間なので、次回は事務局にたたき台を準備してもらいたい。みなさんには資料を事前にしっかり読んで、考えをまとめてきて欲しい。」

劉委員「部会で参考人は呼ぶか。」

園田部会長「参考人を呼ぶ時間的な余裕はないと思う。ほかに何かあるか。（なし）それでは、部会を終わりにする。」

【社会生活部会】

任部会長「それでは、社会生活部会を始める。今日は提言の絞り込みをしたい。時間を区切って進めていくがそれでよいか。賛成の人は挙手を。（全員賛成）では、まずは介護分野の就職支援についてだ。何か意見はあるか。」

孔委員「このテーマを提案したのは私だ。元々は知り合いが介護の仕事をしたいがどうすればよいかかわからない、というのを一緒に探していて感じたことがあったからだ。情報にたどりつくまでに1か月くらい時間がかかったということと、今、海外から人を受け入れようという話もあるがまずは日本の中でも介護職で働きたいという人がいるので、その人たちも活用したらどうかと思っている。部会でも参考人で来てもらったが、私も実際に説明会に行ってみた。外国の方もたくさん来ていたので、やはり働きたいと思っている人が多いなと感じた。私としては、この前、参考人で来てもらった横浜市福祉事業経営者会の説明会や講座、研修を多くの人に知ってもらえるようになるのではないかと

事務局丸橋職員「1点補足したい。以前、参考人で来てもらった時に介護職員初任者研修の受講料は無料だという説明だったと思うが、平成27年度から4万3,200円ということで有料になったそうだ。」

河委員「日本だとハローワークもあるし、情報や相談の窓口を集約することも大切ではないかと思う。」

張委員「私の理解では、すでに取り組みはあるが、それが伝わっていないことに問題があると思う。情報伝達の問題ではないか。」

任部会長「それでは、このテーマは情報伝達の中の1つということにしてよいか。反対意見はあるか。（なし）では、次のテーマに移る。次は居住支援だ。意見をどうぞ。」

タカハシ委員「私も以前、自分で賃貸を探していた時に何回も外国人だからダメと言われたことがある。大家さんではなくて、不動産屋の段階でだ。」

葉委員「大家さんが貸したくないと思うのは、外国人に貸すのが不安だからではないか。その不安を解消することも大切だと思う。」

グエン委員「最近、私も後輩たちのアパート探しを手伝ってあげたのだが、溝の口の辺りでは古くて安い物件が余っていて、積極的に外国人に貸したりしている。公営住宅も入れないというが、話を聞いてみると駅の近くで新しい競争率が

いている部屋もあるようだ。自分の収入と希望する物件のギャップがわかっていないで、不満を言うのはおかしい。」

ヴィラマー委員「たとえば、セミナーを開催して、それを受講したことを条件にすればよいのではないかと思う。」

シフケン委員「私は大家さんの立場に立って考えるのがよいと思う。」

任部会長「時間がないので次のテーマに行きたい。次は区役所サービスと情報伝達だ。

先ほど全体会では、国際交流ラウンジの話があった。国際交流ラウンジができれば、相談窓口や情報伝達の問題は全部解決できると思うか。」

オルソン副委員長「言い方の問題だが、全部解決できるとは思わないし、言わない方がよい。たしかに、いろいろな問題が改善はできるとは思う。」

セヌー委員長「私も国際交流ラウンジだけで全部の問題が解決できるとは思わない。ただ、解決に導く場所だと思う。」

任部会長「すべて情報伝達に関係しているので、切り分けは難しい。」

オルソン副委員長「私はラウンジができれば、いろいろ改善すると思うのでそちらの方向で考えている。」

セヌー委員長「部会の提言としては居住支援がよいのではないかと考えている。」

任部会長「時間がないので決をとりたい。」

葉委員「質問だが、何について決をとろうとしているのか。」

任部会長「まずは提言の数を決めたい。2つにするか、1つにするかだ。提言の数を2つにすることに賛成の人は挙手を。(2人) 1つにすることに賛成の人は挙手を。(6人) では、提言の数は1つということにしたい。次に、居住支援か情報伝達、要は国際交流ラウンジのどちらがよいか希望を聞きたい。」

河委員「先ほど全体会で国際交流ラウンジについて提言しようということになったはずだ。社会生活部会で同じことを提言するのか。どういう意味か理解できていないので教えて欲しい。」

任部会長「情報伝達というのは、国際交流ラウンジとも重なるが、両方とも審議を深めていくと違いが出てくるかもしれない。うまく説明できていないかもしれない。」

オルソン副委員長「もう終わらないといけない時間だ。」

任部会長「時間なので決をとりたい。居住支援に賛成の人は挙手を。(0人) 情報伝達に賛成の人は挙手を。(10人) これが全体の提言と一緒にする

のか、別々になるのかはこれから審議していきたい。予定していた時間を過ぎて
いるので今日はこれで終わりにしたい。」

【全体会】

セヌ一委員長「それでは、全体会を再開する。まずは部会報告を福祉教育部会からお
願いする。」

園田部会長「今日は、前回欠席だった人に希望を聞いて提言の絞り込みをした。結果
は、居場所づくりは多かったがこれはラウンジということになったので、部会
としては子育てガイドブックと高校進学に決まった。次回、まずは事務局にた
たき台をつくってもらって、それを検討したい。」

セヌ一委員長「福祉部会の委員から補足はあるか。（なし）社会生活部会の委員
から質問や意見はあるか。（なし）では、社会生活部会の報告をお願いす
る。」

任部会長「今日はテーマの絞り込みをした。最初に、就職支援については、介護
分野に特化した改善策の話をした。次に、居住支援について話をした。居住
支援については、市の条例や制度もあるので、何ができるのかというのはもう
少し深めなければいけない。それと、区役所サービスと情報伝達について話
をした。このテーマは、全体会で話すことになったテーマとも関連している。
最後に挙手で希望を聞いて、区役所サービスと情報伝達に決まった。」

セヌ一委員長「社会生活部会の委員から補足はあるか。（なし）福祉教育部会の
委員からは何かあるか。」

（なし）

劉委員「全体のテーマとも重なっているということだったが、もちろん重ならない
ものがあればよいのだが、もし全体のテーマと重なってしまったら部会の提言
がなくなってしまうがそれでよいのか。個人的には居住支援が候補でなくなっ
てしまったのが残念だ。」

任部会長「もし重なってしまったら、部会としての提言はなくなる。居住支援につい
ては、現状ではなかなか具体的な改善案を出すのは難しいという印象だ。」

園田部会長「私も社会生活部会として何か提言をまとめた方がよいのではないかと
思う。」

セヌ一委員長「個人的な意見だが、重なる可能性は確実に高いと思う。部会としての
提言もあった方がよいと思う。時間が限られているが、慎重に検討した方がよ

いと感^{かん}じている。」

セヌー委員長「それでは、続^{つづ}いて実行委員会報告^{じっこういいんかいほうこく}をまずは臨時会実行委員会^{りんじかいじっこういいんかい}からお願い^{ねが}いする。」

オルソン副委員長「今日は役割分担^{やくわりぶんたん}を決めた。開会^{かいかい}はセヌー委員長、閉会^{へいかい}は私^{わたし}、司会^{しかい}はダニエラさんと崔^{ちえ}さんだ。会場準備^{かいじょうじゅんび}のリーダーは張^{ちやう}さんと劉^{りゅう}さん。受付^{うけつけ}は園田^{そのだ}さん、タカハシさん、河^{かは}さんに決まった。」

セヌー委員長「司会^{しかい}については、念^{ねん}のために他の人の希望^{きぼう}も聞いておきたい。今は、崔^{ちえ}さんとダニエラさんから希望^{きぼう}が出ているが、他に希望者^{きぼうしや}はいるか。(なし)それでは、崔^{ちえ}さんとダニエラさんをお願い^{ねが}いする。次に、ニューズレター編集委員会^{へんしゅういいんかい}から報告^{ほうこく}をお願い^{ねが}いする。」

任^{れん}部^ぶ会長^{かいちやう}「今日は原稿^{げんこう}の締め切り^{しきり}について確認^{かくにん}して、締め切り^{しきり}までに担当者^{たんとうしや}が書いてくるということになった。」

セヌー委員長「何か質問^{しつもん}や意見^{いけん}はあるか。(なし)では、市民祭り^{しみんまつ}実行委員会^{じっこういいんかい}から報告^{ほうこく}をお願い^{ねが}いする。」

ヒラチャン委員「インターナショナル・フェスティバル^{いんたーなしょなる・ふえすていばる}についての振り返り^{ふりかえり}をして、全体的^{ぜんたいてき}に盛り上がったのではないかとということになった。次回^{じかい}に向けてという部分^{ぶぶん}では、ボランティア^{ぼらんていあ}の人たちがつけていた話せる言語^{わなせるげんご}の目印^{めじるし}があるとよいという意見^{いけん}があった。市民祭り^{しみんまつ}については、1日^{いち}だけということもあり、何が^{なに}できるのかということをはな^{はな}しあ^あった。昨年度^{さくねんど}の企画^{きかく}をベース^{べーす}にクイズ^{くいず}をとり入れたスタンプラリー^{すたんぷらりー}と毎年^{まいとし}やっている魚釣り^{さかなつり}ゲーム^{げーむ}ということになった。テント内^{てんとない}の飾りつけ^{かざりつけ}は今回^{こんかい}はやらないことにした。あとは、世界^{せかい}のお茶^{ちや}と国旗^{こっさき}を描く^かという企画^{きかく}をやろうと思^{おも}う。」

セヌー委員長「質問^{しつもん}や意見^{いけん}はあるか。(なし)これで今日の議事^{ぎぎ}は終わりだ。1つ私^{わたし}から報告^{ほうこく}がある。7月21日^{がつにち}に私^{わたし}と副委員長^{ふくいいんちやう}が川崎市議会^{かわさきしぎかい}報告^{ほうこく}をしてきた。傍聴^{ぼうちやう}には園田^{そのだ}さんが来てくれた。それでは、事務局^{じむきよく}から事務連絡^{じむれんらく}をお願い^{ねが}いする。」

事務局丸橋職員^{じむきよくまるはししょくいん}「事務連絡^{じむれんらく}が4点^{てん}ある。1点^{てん}目は、『イラスト^{いらすと}でわかる資源物^{しげんぶつ}とごみの分別^{ぶんべつ}ルール』だ。なるべく字^じを減^へらして、絵^えを増^ふやしたということなので、周り^{まわり}の方^{かた}にも情報^{じやうほう}提供^{ていきやう}して欲しい。2点^{てん}目は、10月20日^{がつはつ}にやさしい日本語^{にほんご}講座^{こうざ}を開催^{かいさい}する。午後2時^{ごご}から市役所^{しやくしょ}の第4庁舎^{だいしやうしや}だ。詳細^{しやうさい}はまた連絡^{れんらく}するが、関心^{かんしん}のある人^{ひと}はぜひ参加^{さんか}をお願い^{ねが}いしたい。3点^{てん}目は、識字学級^{しきじがっきゅう}の訪問^{ほうもん}だ。オープン会議^{おーぶんかいぎ}のPR^かを兼ね^{かね}て識字学級^{しきじがっきゅう}に訪問^{ほうもん}したいと考^{かんが}えている。みなさん

にメールで予定をお聞きします。4点目は、次回の会議で国際交流協会から参考人として来てもらうことになったので、事前の質問を事務局までお願いする。」

セヌー委員長「次回の会議は10月18日、日曜日、午後2時からここ国際交流センターで開催する。これで2015年度第2回第2日の会議を終わりにする。お疲れさまでした。」